

記念誌発行にあたって

インプリ科創立当時の大先輩が私の住む富田林市に在住とお聞きし、今回お話を伺う機会がありました。保存されていた当時の記録や写真は活気にあふれるものでした。またその方が地元の錦織公園の整備に最初から関わってこられたとお聞きしてとても身近に感じました。「インタープリテーション科 15 年の歩み」に書かれた設立当時の皆さんの熱き思いとCDに蓄積されたインプリモデルの数を見るにつけ先輩方の残された業績の大きさに私達はいつも敬意を抱いておりました。

私はシニア 22 期卒入科 6 年目ですが創立 25 周年目 2020 年に代表であったことをとても誇りに思います。ところが 2020 年は大変な年でした。2019 年末から新型コロナウイルス感染が世界中に広まり、3 月には全国の学校が全て休校、緊急事態宣言が出される中、当然シニア自然大学校も休校になり新年度が始まったのは 7 月でした。しかし第 2 波、3 波が押し寄せ再び 12 月から休校になり解除されたのは 2021 年の 3 月でした。この年から私達の活動は感染拡大状況により制限され、感染防止対策を取りながらの活動となりました。

しかし悪いことばかりではありませんでした。講座部本科から「インタープリテーション入門」の講座依頼があり、検討委員会を立ち上げ、インプリ内容の検討、資料の作成、それを科員全員で話し合い、リハーサルを重ねて、本番では 110 名の講座生にインプリの理論と実演、実習の講義をすることが出来ました。丁度コロナ感染が治まりつつあった 10 月 11 月に実施できたことが幸いしました。

インプリ科が設立当時から実施してきた出前教室が 2018 年から「小学校自然ふれあい教室プロジェクト」としてシニア自然大学校の事業となり、講座生の実習行事であったインプリ入門が 2020 年から「講座部本科の講座」となったことは先輩方が長年続けてこられたことが認められたと自負しております。

私達はこれからも多くの子供たちに自然のすばらしさを伝えていきたいという設立当時から変わらぬ姿勢を持ち続け前進していきたいと思っています。

25 周年記念誌発行に関しては 2019 年に準備委員会を立ち上げ、濱崎さん（2020 年退科）、石川さん、松田さん、福嶋さん、平岡さんと、入科若手として大蔵さんと奈倉が加わって準備を進めてまいりました。中でも病氣療養中も病室に資料を持ち込んで記録をまとめて下さった石川さんの力なくしては完成しえなかったと感謝いたします。

認定 N P O 法人シニア自然大学校 インタープリテーション科

2020 年度代表 奈倉 久美子